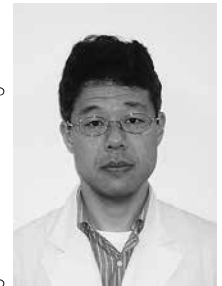


静岡県立総合病院整形外科専門研修ネットワークプログラム (静岡県立総合病院)

1 はじめに

静岡県は、平均寿命が男性 17 位女性 24 位と高齢化人口比率の高い地域であり、地域医療で整形外科の果たす役割が非常に重要となります。

一方で、静岡県は全国 10 位となる約 370 万人の人口がありますが、人口 10 万人対の医師数では 200.8 人と全国 47 都道府県中 40 位という医師不足を抱えています。相対的医師不足が根底に存在しており、特に中部地区では質の高い整形外科医療を担う人材の育成が早急の問題です。



静岡県立総合病院整形外科専門研修プログラムは、静岡県と連携し、地域医療に貢献しようという志をもった専攻医の皆様にも、医師不足地域での地域医療研修義務と同時に多くの専門的な研修と研究の環境を提示できるプログラムとして環境を整えており、専攻医の皆様に素晴らしい研修環境を提供し、個々の能力を最大限に引き出す研修を目指します。

プログラム統括責任者 静岡県立総合病院 運動機能センター長 整形外科 松岡 秀明

2 目的

静岡県立総合病院整形外科専門研修プログラムは到達目標を「地域医療に貢献できる幅広い知識と視野をもった整形外科医師」としています。

整形外科学は、運動器の機能と形態の維持・再建をめざす臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。高齢化型社会をむかえた我国においては、整形外科への期待はますます大きくなっています。このプログラムでは、高齢化社会に即し、地域医療に貢献するプライマリ・ケアから最先端の整形外科医療まで行えるように幅広い知識と技術の研修を行い、他科と連携した全人的チーム医療・地域医療を担えるような整形外科医師を目指します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

静岡県立総合病院 整形外科

(2) 専門研修連携施設

①市立島田市民病院 ②聖隷三方原病院 ③浜松労災病院 ④京都大学医学部附属病院

本プログラムを構成する 5 の研修連携病院は、多くの研修単位を取得可能な大型研修病院が大学を含め 2 施設、多くの症例を経験可能な地域中核病院が 2 施設（うち 1 施設は中核高度専門病院）あり、地域に根ざした医療研修が経験できる地域医療研修病院が 1 施設あります。病院群としては 5 つの病院しか含みませんが、年間手術症例は 700 件から 1500 件まで、合計 5400 件の症例があり、研修プログラムとして十分な数を有しています。

4 専攻医受入数

募集人数：4 名／年間

5 研修期間

整形外科の研修で経験すべき疾患・病態は、骨、軟骨、筋、靭帯、神経などの運動器官を形成するすべての組織の疾病・外傷・加齢変性です。また新生児、小児、学童から成人、高齢者まで全ての年齢層が対象となり、その内容は多様です。

この多様な疾患に対する専門技能を研修するために、整形外科専門研修は1ヶ月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、専攻医が基幹病院および連携病院をローテーションすることで、それぞれの領域で定められた修得単位数以上を修得し、4年間で48単位を修得する修練プロセスで研修します。

6 研修計画（例）

ローテーション例 1

1年	静岡県立総合病院（脊椎、上肢・手、下肢、外傷）
2年	静岡県立総合病院（リウマチ、リハビリ、スポーツ、地域医療）
3年	聖隷三方原病院（脊椎、上肢・手、下肢、外傷）
4年	聖隷三方原病院/京都大学（小児、腫瘍、流動単位）

ローテーション例 2

1年	京都大学/島田市民病院（下肢、外傷、小児、腫瘍）
2年	市立島田市民病院（脊椎、上肢・手、下肢、地域医療）
3年	静岡県立総合病院（脊椎、上肢・手、リウマチ、リハビリ）
4年	静岡県立総合病院（下肢、スポーツ、流動単位）

ローテーション例 3

1年	聖隷三方原病院（脊椎、下肢、流動単位）
2年	聖隷三方原病院（リウマチ、リハビリ、スポーツ、地域医療）
3年	浜松労災病院（上肢・手、外傷）
4年	浜松労災病院 / 京都大学（下肢、小児、腫瘍、流動単位）

専攻医の希望・地域枠や県の奨学生を考慮し、各単位・小児整形・腫瘍・地域医療研修などのローテーション表と専攻医毎の年次別単位取得計画を作成し提示します（専攻医志望人数により変わります）。

それぞれ連携する1型基幹京都大学病院での6ヵ月間の研修を行います。

7 問い合わせ先

静岡県立総合病院 静岡県立総合病院 運動機能センター長 整形外科 松岡 秀明
事務局 総務課総務係

静岡県静岡市葵区北安東4-27-1

TEL 054-247-6111（代）

E-mail sougou-soumu@shizuoka-pho.jp